学校番号	２１３

平成３１年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「最新現代社会　新訂版」　（実教出版）、「基本地図帳　改訂版」（二宮書店）						
副教材等	フォーラム現代社会２０１９　（とうほう）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自らの問題として現代社会をとらえ社会の一員としての自覚を持つ。
・環境問題・世界情勢などを把握し、国際平和に向けて考察する。
・憲法を学び国民の義務を学ぶ。
・経済の基礎を学ぶ。

２　学習の到達目標

１．現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深めます。
２．現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養います。
３．自らの個性を発揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加・協力する態度を育てます。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	C:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	・現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	・現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	・現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・授業観察 ・発問評価 ・長期休暇の提出課題 ・レポート ・模擬選挙	・ワークシート ・発問評価 ・レポート ・定期考査	・ワークシート ・レポート ・定期考査	・ワークシート ・レポート ・小テスト ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第一章地球環境問題	・破壊される地球(1) ・破壊される地球(2) ・地球環境の危機 ・地球環境問題への取り組み ・自然の保護と再生 ・資源・エネルギー問題 ・限りある資源 ・資源をめぐる動向 ・エネルギーの開発と利用	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 地球環境問題、・資源・エネルギー問題、特に地球温暖化に対する関心が高まり、自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究し、自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 b: 自己とのかかわりに着目して課題を見いだし、資源・エネルギー問題、環境保全、温暖化防止をどのように図っていくかを多面的・多角的に考察している。また、国際的な取組や協力、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 c: 課題の設定の仕方、統計や資料の見方、情報の検索や処理の仕方、簡単な社会調査の方法を身に付けている。 d: 地球環境問題、資源の有限を理解し、その公正な分配と持続可能な利用など問題の生じる背景や問題点を追究する観点として、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点があることを理解し、その知識を身に付けている。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
	第3章　日本人としての自覚	・古代日本人の思想 ・仏教思想の展開 ・外来思想の受容と日本の思想	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a: わが国に古来から根付いている思想や外来思想の受容・伝統について意欲的に追究し、日本人の自然観や倫理観がどのように形成されたのかについて考えようとしている。 b: わが国に古来から根付いている思想や外来思想の受容・伝統について、自らの価値観などを参照しながら多面的・多角的に考察している。 c: わが国に古来から根付いている思想や外来思想の受容・伝統について、関連する諸資料・ 新聞・書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して調査・収集している。 d:わが国に古来から根付いている思想や外来思想の受容・伝統について理解し、その知識を身に付けている。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

2学期	第1章　現代国家と民主政治	・民主政治の成立 ・民主政治の基本原理 ・民主政治のしくみと課題 ・世界の主な政治制度	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 近代政治と人権保障の歩みを理解し、国民主権・多数決・権力分立などの基本原理と政治制度の多様性をとらえている。 b: 人権思想と近代国家の発展の歴史に関心をもち、人権尊重の視点から、民主主義の基本原理の特質を理解している。また、それらを文章などで適切に説明・表現している。 c: 関連書籍や新聞・書籍・インターネット、様々なメディアを通じて収集し、選択・活用している。 d: 近代民主政治の歩みと歴史的宣言・文書を通じて、民主主義の原理の形成過程を理解している。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
		・政治的教養をはぐくむ学習 ・選挙制度 ・模擬選挙	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:日本の普通選挙までの過程、日本国憲法制定時などにおける政治参加の拡大の歴史とそれによる政治の変化などを考え、選挙が自身の生活に影響を与えることをについて理解し、公共的な事柄に自ら参画しようとする意欲や態度を育む。 b:有権者として身に付けるべき資質、現実社会の諸問題について多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を身に付け、有権者としての自覚を促す。 c: 関連書籍や新聞・書籍・インターネット、様々なメディアを通じて情報を収集し、グループで政党を作り自ら政策を考案し、模擬選挙で投票している。 d:税の分配や政治の働きを理解し、政治への参政権を得るとともに政治の働きを通して世の中をより良くしていくための責任を負うことを理解する。投票日に主体的に投票に向かい、投票できるよう実践的な知識を身に付ける。	・授業観察 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査 ・模擬選挙・模擬投票のグループワーク

2学期	第2章 日本国憲法の基本的性格	・日本国憲法の制定	○	○		○	a: 現代の民主政治に対する関心を高め、基本的人権の保障、国民主権、議会制民主主義、平和主義などを意欲的に追究し、考えようとしている。 b: 現代の民主政治から課題を見いだし、民主社会において求められる価値や民主政治を基礎付ける考え方などについて多面的・多角的に考察している。 c: 現代の民主政治に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し学習に役立つ情報を主体的に選択して活用し、追究している。地図などを利用し、領土問題に関する自分の考えを考察している。 d: 基本的人権の保障と法の支配、平和主義と我が国の安全など日本国憲法の基本原則について理解し、その知識を身に付けている。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
		・日本国憲法の基本的性格	○	○		○		
		・自由に生きる権利	○	○		○		
		・平等に生きる権利	○	○		○		
		・社会権と参政権・請求権	○	○		○		
		・新しい人権	○	○	○	○		
		・平和主義とわが国の安全	○	○	○	○		
		・わが国の領土問題	○	○	○	○		
		・こんにちの防衛問題	○	○	○	○		
3学期	第3章 現代の経済社会と国民生活	・経済主体と経済活動の意義	○	○		○	a: 現代の経済社会における個人、企業や公的部門の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し経済活動の在り方について考えようとしている。 b: 現代の経済社会における個人、企業や公的部門の経済活動・消費者、納税者としての個人の経済活動・企業の経済活動・社会の変化や消費者、生産者など様々な立場について多面的・多角的に考察し、様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 c: 現代の経済社会における個人、企業や公的部門の経済活動に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、経済活動の在り方などについての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 現代の経済社会における企業の働き、公的部門の役割と租税、金融機関の働きなどについて理解し、その知識を身に付けている。	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
		・経済社会の変容	○	○		○		
		・市場のしくみ	○	○	○	○		
		・市場の失敗	○	○	○	○		
		・国民所得	○	○		○		
		・経済成長と国民の福祉	○	○		○		
		・金融の役割	○	○		○		
		・日本銀行の役割	○	○	○	○		
		・外国為替市場のしくみ	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。